

第79回 企画展 島田の刀鍛冶とそのルーツ

音にきこゆる4^{vol.}

12月1日(日)迄

島田市博物館 ☎ 37-1000

謎に包まれた島田鍛冶
のルーツに迫る

島田鍛冶は、室町時代から江戸時代にかけて、東海道島田宿周辺に居住していた刀鍛冶集団です。県内の刀鍛冶の中では最も繁栄した集団であり、戦国時代には駿河国を領有した今川氏、隣国の武田氏、北条氏にも刀剣を供給していました。

島田鍛冶は、戦に使用する刀剣を大量生産する一方で、刃長約140cmあったとされる「御手杵の槍」や、刀身の半分が鋒という特異な形をした「おそらく造り」の短刀など、オリジナリティに富んだ刀剣も制作し、その多彩な技術が評価を受けていますが、そのルーツについては多くの謎が残されてきました。

本企画展では、義助・助宗・広助に代表される島田の刀鍛冶の刀とともに、相州伝・備前伝・美濃伝といった島田の刀鍛冶が影響を受けた刀剣を展示し、これまで謎に包まれていた島田の刀鍛冶のルーツに迫ります。

■ 関連イベント

【要予約】

※予約方法は
ホームページ
から（QRコード→）



「名刀写しを持ってみよう」
▼現代刀工が鍛えた名刀の写し3振りを実際に持つことができます。

とき／11月9日(土) 午前10時30分、午後1時30分、3時（3部制）

ところ／博物館本館 整理
工作室

講師／萩光明氏（美術刀剣
研磨師）

対象／小学3年生以上（小
学生は保護者同伴）

参加費／500円（保険料
込み）

定員／各回20人

【予約不要】

「刀匠たちによる

実演と体験」

とき／11月23日(土) 午後

1時～4時

ところ／博物館分館中庭

講師／鉄芸

「ギャラリートーク」

とき／12月1日(日) 午前11

時から、午後2時から（各
30分）

ところ／博物館本館